7
2010

熊歯会報

熊本県賞　玉名市立大野小学校一年生　たのうえさきさん

特集　公益法人制度 改革に向けて その1

Kumashi　Kaihou

2010年7月15日
No.651

熊本県歯科医師会

熊歯会報 7月号

2010

―表紙に寄せて―

おさげ髪の女の子が元気いっぱい大きな口をあけていますね。
さきちゃん本人かな？
一生懸命、歯を磨こうとする気持ちがとても伝わって来ました。　（N.T）

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

もくじ

巻頭言（理事　加藤　久雄）…… 3

理事会 …… 4・5

歯の祭典 …… 6～13

ザ衛生週間 …… 14～18

各郡市会長・専務理事会議 …… 19・20

委員会だより …… 21～24
（新法人設立検討臨時・学校歯科）

郡市会だより …… 25～27
（人吉、天草、八代、菊池）

新入会員 …… 27

会長の動静 …… 28

会務報告 …… 28～30

会員のための広報活動

理事　加藤　久雄

広報を担当し、早１年以上が過ぎました。日頃より委員会だよりや郡市会だより等をはじめとし会報作成にご協力いただき感謝申し上げます。長年広報に携わってきて最初に考えましたことが、会報をもっと読んでもらえるように出来ないかということでした。会員のための広報誌であるのと同時に対外的な広報誌であることから、内容に制限がありもっと気軽に読んでもらえるようにするには難しいところがあります。記事のタイトルを工夫し少しでも見やすくしたり、会員の自由投稿コーナーを設けたり、あれこれ試行錯誤しているのが現状です。また昨年４月よりホームページの管理も広報で行っていますが、会員の皆様に役立つよう工夫を重ねております。各種必要な書類がダウンロードできたり、県歯の事業に対し自由に意見できるよう掲示板を設置しておりますのでぜひご活用ください。さて、そもそも広報とは企業だけでなく行政や各種団体の活動内容や情報発信を行う業務、またはその担当者や部署と定義されています。広告と混同されることがありますが、広告は新聞や雑誌、テレビなどの広告枠を買って商品や企業の宣伝を行うことです。それに対し、広報とは情報を発信することで、新聞や雑誌などの媒体に記事として取り上げてもらったり、会員や従業員、県民に歯科医師会の活動内容などを理解してもらうということになります。最大の特徴は、情報を発信する側がメディアにお金を支払う必要のない宣伝であり、そえゆえに情報を取り上げるかどうかはメディア側が決める、という点です。極端に言えば、広報活動はタダでもできる、ということでありますがメディアへの働きかけは必要不可欠です。日歯のアンケートによると歯科医師会の認知度は高いが、どういう活動をしているのかはあまり知られていないという結果でした。どんなに歯科医師会会員が一丸となってが啓発活動を行っても、我々が県民の皆様の歯の健康維持に貢献しても、それが広く浸透し、周知されなければなりません。県民の皆様と歯科医師会の橋渡しを広報が担うという点では、責任はとても重いと言えます。もっと県民の皆様やメディアに対し活動を広くアピールしていく必要があると思われます。昨年、笑顔ヘルCキャンペーンを題材にした歯っぴー新聞を発行しましたが、これは会員の診療所を情報発信の場としもっと歯科医師会の活動を広く県民にアピールしたいとの思いで始めたものです。そういう思いをご理解いただき今後発行される新聞をぜひ待合室にご掲示ください。残りの任期では、対外PRに力を注ぎ、積極的にメディアに働きかけを行い取材を受けたり、テレビや新聞に対し全身の健康に対する歯の健康の重要性をさらに強力にアピールしていきます。それにより県民の皆様に歯の健康の大切さを再認識していただき、歯の健康維持につながるような活動としていきます。それが受診率アップにつながり、会員のためになるような歯科医師会の広報活動に全力で当たりたいと思います。ご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

理事会報告

意味のある事業運営を

― 第３回理事会 ―

６月21日（月）午後７時より県歯会館第１会議室において浦田会長ほか全役員出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を片山理事、前田理事として第３回理事会が開催された。

開　会：中嶋副会長

浦田会長あいさつ

前回の理事会から、１ヶ月の間に、歯の衛生週間、日本歯科保存学会、学校歯科保健推進大会、各郡市会長・専務会議、日学歯会長との懇談会等、様々な行事がございました。出席、或いは担当された先生方、大変お疲れ様でした。また、それらの行事以外の諸事業についても順調に進めていくことができておりますが、まだまだ懸案はたくさんあります。先般の各郡市会長・専務会議におきましても、各郡市より様々なご意見、ご要望が寄せられていますので、それらを会務に反映させていきたいと思っています。引き続き宜しくお願い致します。私たち執行部に与えられた期間も残りあと半年程度となりました。スムーズな事業運営というよりも、意味のある運営ということを念頭に置きながら、会務を進めていきたいと思います。本日も慎重審議、どうぞ宜しくお願い致します。

体調管理には留意ください

報　告

総　　務：日本歯科保存学会、第２回新法人設立検討臨時委員会、総合政策推進プロジェクト会議、九州各県会長会議、九地連協議会・総会、第２回日歯理事会、九州地方社会保険医療協議会、県薬剤師会通常総会、第３回日歯対応PR小委員会、第３回日歯対内広報小委員会、第３回日歯ホームページ企画小委員会

学　　術：日歯生涯研修事業

社会保険：荒尾市社保研修会、国保連合会との勉強会

地域保健：歯の衛生週間（歯の祭典、県内各地において無料歯科健診・相談等）都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会

厚生管理：リカバリー研修会、代診派遣制度

広　　報：「熊歯会報」６月号校正、７月号編集・校正、NHKテレメッセ出演

学校歯科：県学校保健会第1回評議員会並びに理事会、学校歯科保健推進大会

医療対策：「双方向コミュニケーション」ガイド、天草郡市医療対策研修会

センター・介護：口腔保健センターカルテ・会計チェック

学　　院：学院運営審議会、学院教務委員会

国　　保：熊本県組合地区国保運営協議会

以上、５月21日から６月16日までの総務、各委員会他の動きについて、浦田会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その２

１．日歯報告

○中絶指定医問題

人工妊娠中絶を行うことができる医師の認定は「都道府県の区域を単位として設立された公益社団法人たる医師会が行う」となっているため、公益社団法人に移行できなかった場合、医師会は、人工妊娠中絶を行う医師の認定ができなくなる可能性がある。そのため、自民党の西島英利氏は、厚生労働省に対して、スムーズに公益法人化ができるように要望している。

○日歯年金適用利率

平成21年度の運用実績は9.73％であり、適用利率は9.72％に決定された。なお、本年度は0.88％（４月）で推移している。

○終身会員及び会費免除の取扱い、会員種別等

日歯と日医の相違点、会員種別ごとの論点整理について、説明がなされた。

○審査に関する苦情等相談窓口

これまでは審査に関する苦情等については、各都道府県の支払基金で対応していたが、今後は支払基金本部が対応する。また、その照会については、電子メール、FAX等により行われることとなった。

２．関係機関・団体からの推薦依頼
・財務特別委員会委員／(財)熊本県体育協会
浦田　健二　会長
（任期：平成22年４月１日～平成24年３月31日）
・熊本県医療･保健･福祉連携学会企画委員／熊本県医師会
小島　博文　副会長
（任期：平成22年７月１日～事業終了まで）
・熊本院内感染対策研究会世話人会委員／熊本院内感染対策研究会
牛島　隆　理事
（任期：平成22年７月１日～）
３．後援名義・協賛使用依頼
【後援】
・第48回熊本県精神保健福祉大会／(社)熊本県精神保健福祉協会
・熊本小児歯科懇話会第62例会／熊本小児歯科懇話会
・平成22年度新樹会学術講演会／新樹会
【協賛】
・薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動熊本県事業／健康福祉部薬務衛生課
４．チラシ同封依頼
・AQBインプラント講演会／㈱アドバンスAQB事業部
・日本歯科東洋医学会九州支部講演会／日本歯科東洋医学会九州支部
・熊本県男女共同参画推進事業者表彰候補募集チラシ／男女参画・協働推進課
尚、チラシ同封についての内規を総務委員会で検討している。
５．委員会定期便（委員会だより等）の送付年月日の記入
各委員会による発送物については、必ず発送年月日を記載するよう要請があった。
６．会館チェック結果
６月７日に事務局職員により、会館管理チェックを行った。修復が必要な箇所については、７月までに業者による修復作業を行う。
７．在宅歯科医療連携室整備事業
事業の執行にあたっての制約が多く、その遂行が難しいと思われるので、今回の同事業の追加募集には応じない旨の報告がなされた。
８．平成21年度口腔保健センター事業報告書
患者数が１割ほど増えたこともあり前年度会計は、順調に運営することが出来た等の報告がなされた。
９．委員会事業企画
・医療対策委員会
「警察歯科医会講演会」
７月18日（日）午前10時開催予定
・厚生管理委員会
「長期的経営における損益分岐点と可処分所得についての研修会」
平成22年秋　開催予定
「求人情報のホームページ掲載」
10．委員会事業実施報告
・社会保険委員会「国保連合会との勉強会」
平成22年６月11日（金）開催
・地域保健委員会「歯の祭典」
平成22年６月６日（日）開催
11．各会計５月現況
12．7月行事予定
13．その他
○会員間のトラブルについての経過報告
（前野副会長）
○新座市の死亡事例（前野副会長）
会員に対して、この事例の通知、並びにロールワッテの取扱いについての注意喚起を行うこととした。
○学院広告費（伊藤常務理事）
テレビ熊本において広告ＣＭが放映される予定となっている。
○うつ病に関する講演会（牛島理事）
他郡市で開催される機会はあまりないので是非参加していただきたい。

協　議

１．新入会員の承認（承認）
一般会員１名の入会を承認した。
２．中規模県歯科医師会連合会の提出協議題
（承認）
提出協議題案がある場合は、専務理事、或いは事務局に申し出ることとした。
３．平成21年度各会計収入支出決算（案）
（承認）
原案通り承認した。
４．平成20・21年度事業特別事情により修了と見なす会員（承認）
原案通り承認し、候補にあがった会員は全て日歯生涯研修事業の単位を取得したと見なすこととした。また、安心･安全歯科医療推進制度の基準についても修了と見なすこととした。
５．安心・安全歯科医療推進制度達成証に関する質問の回答（継続審議）
想定される質問、及びその回答内容について、再度検討した上で、次回理事会において改めて協議することとした。
６．理事の時間
松岡・大林理事により、委員会事業報告が行われた。
７．全国学校歯科保健研究大会の受け入れ
（承認）
日本学校歯科医会より、第77回全国歯科保健研究大会（平成25年度）を本県にて開催してほしい旨の依頼があった件について協議したところ、賛成多数において引き受けることを決定した。尚、本年度より、時間を短縮した日程で開催されることになっている。

監事講評：片山監事、遠山監事
閉　会：小島副会長
（広報　加藤　久雄）

歯の

主催者を代表して挨拶される
熊本県健康福祉部次長　松葉成正氏

8020社会の実現を

6月6日（日）県歯会館4階ホールにて「歯の祭典」が開催された。午後1時の開会時にはおよそ150名の参加者が会場を埋めていた。渡辺専務理事の開会の辞で幕を開け、主催者を代表して松葉成正熊本県健康福祉部次長が蒲島郁夫熊本県知事の代理として挨拶された。また浦田会長からは「この機会に歯と全身の健康との密接な繋がりを知ってもらい、8020社会の実現に向けてのきっかけにして頂きたい」と挨拶があった。

その後主催者紹介を経て、表彰式へと移った。表彰式は「高齢者のよい歯のコンクール」、歯の衛生に関する「図画・ポスター、習字」、「くまもと歯の健康文化賞」の3部門に分けて行われた。

「高齢者のよい歯のコンクール」では熊本県賞を阿蘇郡市の佐藤タエ子様（81歳）が、熊本県歯科医師会賞を熊本市の井上正直様（81歳）、下益城郡の林田和子様（80歳）が受賞され、その他の郡市代表の方々は8020優秀賞をそれぞれ受賞された。

歯の衛生に関する「図画・ポスター」、「習字」部門では、熊本県賞、熊本県教育委員会賞、熊本県歯科医師会賞がそれぞれにつき1年生から6年生まで学年別に送られた。壇上で賞状と賞品が授与され、子供たちは緊張気味に、でも嬉しそうに受け取っていた。またそれを温かく見守りながら写真、ビデオに納める親御さんの姿が印象的であった。

その後、3月14日に八代で行われた8020支援事業「歯の健康講座」で選ばれた歯に関するエピソードを歌にした「歯っぴーソング」3曲が紹介された。その中の1曲を作詞した小学校3年生の有働奈央さんが図画・ポスターの部の熊本県賞受賞で来場されており、来場者から拍手が送られ会場は暖かい空気に包まれた。

「くまもと歯の健康文化賞」は個人の部で赤木睦世様、団体の部で特別養護老人ホーム白梅荘が受賞された。赤木様は実際に児童に行っている、指人形を使ったむし歯予防の劇を披露された。また白梅荘の代表者は口腔ケアの実習等、歯科保健に関する研修会を開催している現在の活動状況をスライドを用いて紹介された。

最後に宮坂常務理事より閉会の辞が述べられ、今年の「歯の祭典」も盛会のうちに幕を閉じた。

（地域保健　宮本名留彦）

祭　典

「高齢者よい歯のコンクール」での受賞の皆様

来賓の方々

作品審査について説明する大林理事

およそ150名の来場者

宮坂常務理事による閉会挨拶

上通り作品展示風景

高齢者のよい歯のコンクール

熊本県賞　阿蘇郡市　佐藤　タエ子 様

1）受賞の感想

昨年が郡市で最優秀賞でびっくりしておりましたが、今年は県賞ということでたいへんうれしく思います。

2）普段の生活で気をつけていること

本当は毎食後すぐに3分みがくと言ったほうがよろしいのでしょうが、実際のところは朝と昼は軽めにみがき、夜寝る前にじゅうぶん念入りにみがきます。

肉よりも魚をよく食べます。甘い物はあまり食べません。

趣味は切り絵、カラオケです。

週1回筋力トレーニングをおこなっています。

ご主人様も昨年、郡市の「よい歯のコンクール」で2位だったそうで、夫婦ともども会合などに出席すると、歯を健康に保つ秘訣について聞かれたりするそうです。

熊本県歯科医師会賞

熊本市　井上　正直 様

上益城　林田　和子 様

くまもと歯の健康文化賞

個人の部　赤木　睦世 様

指人形を使ったむし歯予防劇

団体の部　特別養護老人ホーム白梅荘 様

（感想）
　この度は、くまもと歯の健康文化賞を頂きまして職員一同心より感謝しております。
施設での口腔ケアの取り組みについては、「利用者の皆様に健康で長生きしてほしい」そのためにはどうすればよいのか、まずは口から美味しく食べていただくことを目標にあげました。平成18年度より介護保険法でも口腔ケアの必要性を聞かれるようになり、水俣・芦北歯科衛生士の方々が歯の健康推進活動で、はみがき隊という活動をされており、白梅荘でも指導していただき、少しずつではありますが施設での口腔ケアに対する意識が変化してきました。今回、名誉な賞をいただけましたのも支えてくださいました関係各位、水俣・芦北郡市歯科医師会、歯科衛生士の皆様のご支援、ご指導のおかげでもあります。
（工夫している点）
　口腔ケア委員会による勉強会を開催し、知識・技術の向上を図っています。また、はみがき隊による毎月１回土曜日に施設にて、利用者の口腔内の状態の観察、ブラッシングや用品の使用方法、利用者に負担の少ない口腔ケアができているか、懇切丁寧に指導をしていただいております。
　これからも、歯科衛生士の皆様と連携を図りながら活動していきたいと思います。

図画、ポスター、習字の部受賞者

熊本県賞

図画の部　審査員 工藤　友治 氏

①受賞しての感想（受賞してどう思いましたか？）
②今回、作品を仕上げるにあたって工夫したこと気をつけたことは何ですか？

玉名市立大野小学校
１年　たのうえ　さき さん

①とてもうれしかった。賞をもらえるとは思っていなかった。
②描く順番を工夫した。はじめにハブラシ、次に手、最後に顔を描いた。
＜審査員コメント＞
　画面いっぱいに大きくあけた口、みがかれた美しい歯がきれいです。色の調子も美しく、１年生らしい楽しい絵です。

玉名市立大野小学校
２年　竹原（たけはら）　愁真（しゅうま）くん

①うれしいけど、はずかしかった。
②３人の内、僕だけを大きくかきました。
＜審査員コメント＞
　３人が仲良く歯みがきをしています。まん中に大きく描かれた人がこの絵をかいた作者でしょうか。みる人にうったえる力のある絵です。

山鹿市立内田小学校
3年　うどう　なお さん

①３年れんぞくじゅしょうしたのでうれしかったです。
②はの形やはの色を気をつけました。
＜審査員コメント＞
　画面全体に大きな動きがあり、色の調子もとてもきれいです。大きな眼がみる人をひきつけます。

ポスターの部

八代市立代陽小学校
4年　中嶋（なかしま）　理穂（りほ）様

①初めてだったから、とてもうれしかった。
②みんなが（クラスの子たち）のまねでなく、自分の考え、はっそうでした。
＜審査員コメント＞
　よびかけのことば（あなたの顔、歯みがきしたらまぶしいね）がまわりの橙色に美しく調和して人をひきつけます。

山都町立馬見原小学校
5年　山本（やまもと）　勇斗（ゆうと）様

①受賞してとってもよかったです。
②目をみあわせたことです。
＜審査員コメント＞
　歯みがきをしているふたりがとても健康そうで、楽しい作品です。
「みんなで仲よく歯みがきをしましょう」という気持ちがよく表現されています。

宇土市立宇土小学校
6年　高田（たかだ）　賢人（けんと）様

①僕でいいんだろうかとおもいました。
②できるだけきれいな色でぬる事を心がけました。
＜審査員コメント＞
　白い歯が美しく描かれています。色彩も鮮明で、明るいポスターです。

熊本県賞

習字の部　審査員 兼城　昌山 氏

後列左より
　　髙　原　由利乃 様
　　畑　山　ここな さん
　　古　嶋　美　愛 様
前列左より
　　楠　岡　柚　子 様
　　よしの　あいり さん
　　あ　べ　ちなつ さん

＜審査員コメント＞

大きく力いっぱいにかけています。名まえもよくできました。

宇土市立宇土小学校
1年　あべ　ちなつ さん

＜審査員コメント＞

筆はこびも全体のまとまりもよくかけています。

宇城市立松橋小学校
2年　よしの　あいり さん

＜審査員コメント＞

３つの文字が力強く、大きく書けて良くできています。

宇城市立松橋小学校
3年　畑山（はたやま）　ここな さん

＜審査員コメント＞

４つの文字が大きく、よくまとめて書けています。

玉名市立玉水小学校
4年　楠岡（くすおか）　柚子（ゆず） 様

＜審査員コメント＞

４つの文字が堂々と見せており、名前までよくかけています。

宇城市立松橋小学校
５年　古嶋　美愛 様

＜審査員コメント＞

６字の配置も良くかけており、筆使いも正しい。

宇城市立松橋小学校
６年　髙原　由利乃 様

熊本県教育委員会賞

図画・ポスターの部

後列左より
嶋田彩花 様
濵田倫子 様
なか山浩太 くん
前列左より
田浦英理歌 様
石川れな さん
いなつすず さん

習字の部

後列左より
野尻淑子 様
あか山みすず さん
岩崎大仁 様
前列左より
原田さき さん
まつえここさ さん
河野天馬 様

熊本県歯科医師会賞

図画・ポスターの部

後列左より
甲　斐　翔　吾 様
佐々木　広　夢 くん
髙　橋　隆　人 くん
前列左より
中お　とうや くん
川　野　達　也 くん

習 字 の 部

左より
畑　山　すずか 様
野　尻　真理子 様
小　橋　由　季 さん
さかにし　るりか さん

3月14日、八代で行われた8020支援事業「歯の健康講座」で選ばれた歯に関するエピソードを歌にした「歯っぴーソング」3曲が紹介された。その中の1曲を作詞した小学校3年生のうどうなおさんが熊日の記者のインタビューを受けた。

ザ 衛 生 週 間

各地のイベントから

玉名郡市　地域に密着した歯科保健活動

— よい歯の広場 —

6月5日（土）玉名市保健センターにて、毎年恒例行事となっている『良い歯の広場』が午前10時から開催された。玉名郡市歯科医師会主催、玉名市、有明保健所、熊本県歯科衛生士会玉名支部、及び栄養士会の協力のもと回を重ね、地域住民の方々にも認知され親しまれて来ており、今年も子供からお年寄りまで幅広い参加があった。

子供を対象としたフッ素塗布をはじめ、無料歯科健診・相談、ブラッシング指導、栄養指導などが実施された。子供達には、くじが当たればフィギュアのおもちゃがもらえるとあって大変盛り上がった。

子供を対象としたフッ素塗布

来場者にはリピーターの方も多く見られ、積極的にむし歯、歯周病、歯並び、インプラント、咬み合わせ、などの相談をされていた。栄養士の方への相談では食が健康にもたらす影響、どのような食事を心がけたら良いのか、食によるダイエットの方法、食材のバランスなどの質問があった。それに対して詳しい説明を行った。

和やかな雰囲気での歯科健診

歯の予防活動を通じて、地域に密着した歯科保健活動が出来つつあると実感させられた。今後も歯科保健に関心を持って頂けるよう努めて行きたいと思う。

（永廣　有伸）

人 吉 市　121名来場　無料歯科健診（8020は14名）

— 歯の衛生週間 —

6月5日（土）13時30分よりゆめマート人吉店において、人吉球磨衛生士会・熊本県歯科用品商組合の協賛・人吉球磨地域歯科保健推進協議会（歯ッピーネット）人吉市教育委員会の後援、人吉市歯科医師会の主催で、歯の衛生週間のイベントが開かれた。

歯科医師会は、今藤会長をはじめとして14名の会員の先生方による、無料歯科健診・相談・7020の表彰を行った。来場者数は121名、7020の高齢者良い歯のコンクールの表彰は25名の方が受けられた（内8020は14名）。今年は、今藤ひとみ会員による高齢者の嚥下力検査が行われ24名の受診者があった。衛生士会の方々によるフッ素塗布、ブラッシング指導も55名の受診者があり賑わいをみせた。地元の新聞社のみならずNHKからの取材もあり、

はい、アーンして

会員の健診もさらに熱のこもったものとなった。無料歯科健診は、小さいお子さんがいるお母さん方が熱心に相談をされていた。

（瀬戸　雄行）

八代市　企画の勝利!?来場者大幅増

― 歯の祭典 ―

6月5日（土）にやつしろ歯の祭典が催された。歯の祭典は、歯の衛生週間にちなんで毎年6月の第1土曜日に八代市内の3会場と氷川町において開催されている。メイン会場のハーモニーホールにおいては、開会式後、「高齢者よい歯のコンクール」ならびに「小学生の図画ポスター」の表彰が行われた。その後、歯科健診、矯正相談、ブラッシング指導、フッ化物塗布、口臭測定、むし歯や歯周病のリスクチェックなどが各ブースに分かれて行った。また市役所の方からは健康相談、食生活改善推進員協議会の朝ごはんカードバイキング、薬剤師会の薬相談コーナーもあった。特に人気だったのが技工士会が企画する指の模型作りで、今年もたくさんの子供たちが参加していた。ハーモニーホールにメイン会場が移動して4年目になるが、今年は天候も良かったせいか1000人近くの来場者があった。

次に、いろいろな企画を実行して近年特に力を入れているゆめタウン会場である。歯の祭典が行われている事を事前に知っていて、それが目的で来場される他会場と違い、ゆめタウンの場合たまたま買い物をするために来た人が寄ってくれることを期待しなければならない。そのためには人が思わず立ち止まるような企画が必要であり、考えた末にお子様連れに的をしぼり来場を促す作戦を立てた。すなわち「フッ素洗口したらふわふわ風船がもらえる」、「アンケートを書いたらおもちゃくじが引ける、衛生グッズがもらえる」を3年間にわたりアピールしてきた。その結果、来場者は一昨年120人、昨年410人、今年570人と順調に増加している。また今年はむたゆうじさんのゲリラコンサートも企画し、これも大成功であった。

我々も頑張りました！

健診にも長蛇の列

八代歯科医師会の活動拠点である口腔保健センターの会場でも、多数の来場者が訪れた。今年は特に、一家みんなで来場される方が多く、子供たちはブラッシング指導を受けた後、おもちゃのくじを引いたりして大喜びであった。

氷川町公民館の会場では、この歯の祭典のために折込チラシや広報車や放送など特に広報活動に力を入れた。その成果であろう3時間の短い時間にも関らず247名の来場があった。昨年は134名なのでほぼ倍増である。会場ではフッ素洗口やＲＤテストが人気であり、また技工士会の石膏の指人形が好評だった。それと壁に貼ってある小学生の絵も来場者の目を和ませていた。

今回の歯の祭典は、4会場合わせての来場者が1878名となり昨年の1510名より大幅に増加した。これも各会場ごとに地道な広報を行い、いろいろな企画を考えてきたその成果であろう。1年に1回、直接市民の皆さんに接し歯の大切さをアピールできるこの機会を、われわれ歯科医師も大切にしていこうと思う。

ハーモニーホールで表彰者と一緒に

（岩崎　晃司）

荒尾市　幸運の歯ブラシ

― 第３回むし歯予防デーレース ―

６月４日（金）まさにむし歯予防デーに荒尾競馬場において昨年、一昨年と好評を博したイベントレース「むし歯予防デー冠レース」が今年も開催された。

例年同様、入場門付近に「歯科医師会特設コーナー」を午前９時より設置し、啓発パネルの展示を行い、入場者に歯ブラシの配布を行った。競馬場において、物をもらうものは、幸運をもらうのと等しいそうで、約200名分準備していた歯ブラシは、正午前には品切れとなった。

肝心のレースは午後３時15分出走、第８レース「むし歯予防デー特選サラ系３歳」と銘打って行われ、レース終了後に表彰式が行われ、福嶋修治会長と原口泰常務理事より優勝した騎手、調教師、馬主を表彰し、それぞれに口腔衛生関連商品の詰め合わせを賞品として手渡した。昨年も本レースを制した１着の村島俊策騎手は「去年も勝ったバイ。」と微笑み白い歯を覗かせた。ジョッキーも歯が命である。スタンドからは競馬ファンからの盛大な拍手が送られ、声援にこたえる村島騎手が賞品のケアグッズをせがむファンへ分け与え、イベントを盛り上げた。この姿は昨年も目にした光景である。

「むし歯予防デー特選サラ系３歳」

普段の啓発行事と縁遠い方々に口腔衛生をＰＲする、出張型かつ「まさか」の本活動は３回目を迎え恒例行事となりつつある。当初の斬新性の維持が課題となるかもしれない。

（馬場　一英）

荒尾市　延べ1200人の市民が参加

― 第７回健康福祉まつり ―

梅雨の足音が近づくも、晴天に恵まれた６月６日（日）午前10時より、荒尾市文化センターにおいて第７回荒尾市健康福祉まつりが開催された。

本行事は、荒尾市地域福祉保健医療福祉推進協議会主催で、市内の医療福祉関係団体協力のもと、楽しい健康啓蒙イベントとして、例年開催され、市民に定着している。その中で、毎年好評の口腔衛生コーナーを荒尾市歯科医師会が担当し本年も例年同様、衛生士会、技工士会の協力のもと、お口の健康アンケート、健診、フッ素塗布、ブラッシング指導、位相差顕微鏡、児童へおもちゃプレゼントくじ引き、口腔衛生用品展示、技工物展示、石膏人形色つけ、パネル展示、各コーナーを設置した。アンケート回答者と健診受診者には、歯ブラシ、マウスウォッシュなどケアグッズのサンプルを配布した。

多くの人々で溢れかえる各コーナーでは、微笑ましいコミュニケーションが繰り広げられ、単なるスクリーニングにとどまらず、今現在の歯科医師会及び歯科医療の姿を市民にありのままPRした。

歯科医師会・歯科医療を市民にPR

把握できる来場者数は、アンケート533人、健診248人、フッ素塗布213人、ブラッシング指導191人とすべてのコーナーで延べ1200人ほどの市民の方々に訪れていただいた荒尾市の歯科保健事業は回を重ねるごとに親しんでいただき、大盛況のうちに午後３時に幕を閉じた。

（馬場　一英）

天草郡市　来場者数大幅増、入場者数延べ2149名！

― 天草市健康フェスタ ―

6月5日（土）、天草市民センター体育館において「天草市健康フェスタ」が開催された。とくにむし歯予防週間のポスター展示は、613作品と応募数が多く、急きょ隣のセンター内の展示場での開催、表彰となった。各コーナーの内訳は歯科健診コーナー247名、染め出しブラッシングコーナー197名、フッ素塗布コーナー176名、口腔内の細菌チェックコーナー56名、歯科技工士石膏ペイントコーナー103名、その他身体測定コーナー202名、健康相談194名、血管年齢測定コーナー108名、骨硬化度測定114名、食生活チェックコーナー67名、体力測定112名、認知症相談47名。ほかにも子供たちに人気のスタンプラリーがあり、景品交換等で好評を得ていた。惜しむらくはぎゅうぎゅう詰めだったかもしれないが、ポスター展示も同一会場でできれば、もう少し増員を見込めたような気がする。

健診コーナーも大にぎわいだった

（槌本　亮二郎）

鹿本郡市　歯ブラシが不足するほどの盛況

― 歯の衛生週間事業 ―

6月5日（土）午後2時より植木町かがやき館と鹿本生涯福祉センター「ひだまり」において、鹿本郡市歯科医師会と鹿本郡市歯科衛生士会合同で歯の衛生週間事業として、歯科医師による無料歯科健診、歯科相談、フッ素塗布、歯科衛生士によるブラッシング指導が行われた。

健診者数は植木町かがやき館34名、鹿本生涯福祉センター「ひだまり」で134名、合計168名であった。

歯科医師による健診・相談、歯科衛生士によるブラッシング指導、希望者にフッ素塗布を行った。特に、鹿本生涯福祉センター「ひだまり」においては、無料配布する歯ブラシが不足するほどの盛況ぶりだった。

終了後、行政関係者を含めた懇親会で、鹿本では特に事前告知を行った為受診者が多かったのではないか？「植木でも、もっと事前告知を行って受診者を増やしていきたい。」という意見が聞かれた。

鹿本では受診者が多かった

行政と協力し事前告知を含めて、歯科啓蒙活動の範囲、人数を増やしていかなければならないと思った。

（小林　　聡）

熊本市　会場変更でも盛況

― 歯の祭典 ―

6月6日ウェルパルくまもとにて「2010歯の祭典」が開催された。

今年より上通り商店街からウェルパルくまもとに会場を移し、新しい企画で開催したため、来場者が少ないのではないかと危惧していたが、大方の予想に反し約900名余の来場者があった。

今回は、屋内ということもあり、講演会を企画し、第1部『歯から始まる健康と長寿』という演題で宮本格尚会員に、咬合から診た不定愁訴の治療について講演とデモンストレーションを行ってもらった。また第2部では『乳幼児期のより良い健康を目指して』という演題で逢坂亘彦会員に、母乳とむし歯の関係など興味深い内容を交えながらわかりやすく講演していただいた。どちらも多くの方が熱心に聴かれていた。また、歯科技工士会の各種キャラクター石膏模型に色をつける体験コーナーでは最後まで子供たち（中には大人の人も…お孫さんへのお土産ですかね）が熱心に色塗りをしている姿で終日いっぱいであった。その他のコーナーもゆっくりと見学や相談をされる方などが多く見受けられた。

上通りびぷれす広場の方では、歯っぴーかむカムひごまる協議会の方たちの協力による健口ストローゴルフと健口かるたを開催した。こちらも子供たちが熱心にゲームに興じていた。また、ボランティアの方にギターの弾き語りを飛び入りで演奏してもらい、場を盛り上げてもらった。

ワクワク色塗り

今回も歯科関係各団体や市役所の方々のご協力の下、大成功に終わらせることが出来ました。ありがとうございました。

（田中　弥興）

菊池郡市　今年は、ゆめタウン光の森にて開催

― 歯の健康展 ―

6月6日（日）菊陽町ゆめタウン光の森1階にて第24回菊池郡市「歯の健康展」が開催された。例年菊池市の歯科医師会館にて催されていた健康展であるが、認知度を上げようという試みから今年は趣向を変え、巨大ショッピングモールでの開催となった。

「Yes、we cam（イエス、ウィ噛む）in ゆめタウン」をテーマに、衛生士会、栄養士会、技工士会の協力のもと、歯科健診コーナー、位相差顕微鏡コーナー、口臭測定コーナー、メタボ対策栄養相談コーナー、咬合力測定コーナー、石膏模型プレゼントコーナー、衛生士学院紹介コーナー、全身疾患と歯科受診相談コーナー、インプラント相談コーナー、歯周病健診コーナーなど数多くのブースを用意し、会場は親子連れを中心とした500名近い来場者でにぎわった。

またステージでは恒例となった劇団にゃあと衛生士会による劇が行われ、来場者を笑いの渦に巻き込んでいた。

「Yes、we cam！」

会場周囲のパネルには菊池郡市管轄内の小学校の図画・習字優秀作品が展示され、来場した児童には、荒木会長より賞状・景品が授与された。

出口では景品抽選コーナーがあり、大きな景品をゲットした子供は満面の笑顔であった。

（阿久根秀典）

急がれる未入会者対策

― 第１回各郡市会長・専務理事会議 ―

６月19日（土）午後３時より県歯会館４階ホールにて、第１回各郡市会長・専務理事会議が開催された。県歯渡辺専務理事の開会の辞の後、小島副会長を座長とし会は進行した。

浦田会長の挨拶要旨

日頃より、会務の執行にご協力いただき御礼申し上げます。中央では、政府が変わり、日歯が出していましたお願いあるいは要望は白紙に、また保険業法改正も今国会では廃案となりました。しかし、政府は、引き続き重点項目として次期国会では成立させたいとのことです。一方本県では、９月遅くとも12月には口腔保健条例（仮称）を成立させたいとの強い意志で県議が望まれています。歯科医師会としましては、情報提供や要望をしておりますが、骨子案が出されたら意見のすり合わせをする予定です。12歳児のDMFが全国ワースト２、１歳半のむし歯保有率がワースト１となっており、結果についてどうしてなのか吟味する余地はありますが、条例の制定にはプラスに働くと思われます。条例ができれば我々は、今まで以上に積極的に関わり推進していく義務が生じるところとなり、県歯と郡市が一体となりさらなる活動をして行かなくてはなりません。ご協力をよろしくお願いします。

報告

（１）新法人設立検討臨時委員会の設置

会員には、会報で情報提供を行う。12月の各郡市会長・専務理事会議で進捗状況を報告し、その後会員への説明会を開催予定。

（２）熊本県歯科保健条例の制定

県議会は超党派でやっていきたいとのこと。県歯としては関連資料を提出し、15項目の要望を伝えており、骨子案が出たら意見のすり合わせを行う予定。

県歯と郡市が一体となり、さらなる活動を口腔保健条例の成立に向けて

（３）平成22年度年間行事予定

９月25日臨時代議員会、12月４日第２回各郡市会長・専務理事会議、３月５日通常代議員会・総会。

（４）安心・安全歯科医療推進制度の基準達成

参加者平均取得単位数　全国第１位。７月に基準達成証を発送。達成している会員には、申請が遅れても発行する予定。

（５）その他

熊本県糖尿病対策推進会議連携医の認定登録条件に、H22年より歯周病の研修が追加された。推進会議において、各郡市歯科医師会も熊本糖尿病地域連携ネットワーク研究会の対象となったとの報告が、田上理事よりあった。また、浦田会長より、2013年に糖尿病学会が熊本で開催される可能性があり、その際は協力を要請されているとの話があった。

協議

（１）未入会者対策

小島副会長（座長）

過去に未入会者に対して行ったアンケー

トから入会金が高すぎるという結果がでています。もちろん未入会者対策においては、入会金だけの問題ではないが、本会では、千葉県の実績（例として説明）も踏まえ入会金を限りなく0にしたいと考えています。

西野常務理事

今後、終身会員（70歳）の増加と共に会費収入の減少は避けられない事実であります。H29年以降毎年終身会員は約20名ずつ増加し、また会費収入はH32～33年（約10年後）から急激に減少します。終身会員の年齢の引き上げは何としても避けたい、そう考えると入会者を増やし歯科医師会会員の人口ピラミッド構造を変えていかなければならない。

久々山会長（天草郡市）

県歯が入会金を0にすることに反対ではないが、順序が逆のような気がする。まず郡市の入会金の問題がクリアできないと先に進まない。解決できるところからしていかないと。

浦田会長

郡市の問題に、県が踏み込めるかということがあります。郡市で判断していただかなければならないし、まずは県から範を示すべきだと思っています。県が変えるとこは変え、郡市にご協力いただくというスタンスでいきたいと思います。

小島副会長

各郡市の入会金問題も含めた未入会対策の話し合いの場を早急に開催したい。

（2）選挙規則の見直し

① 期日前投票の可否、日数、投票時間

② 郵送等による救済措置の可否、その範囲

③ 会長等の選挙（総会）日程前倒しの可否、その時期

④ 選挙運動の制限の可否、その内容

八木理事

少なくとも期日前投票の可否と会長選挙の前倒しの可否の2点はご意見をお願いします。

渡辺専務理事

本日の協議のポイントは、総会の時のみの選挙だったことから今回の見直しの話が出ております。期日前投票の、必要性と、必要ならば日数と時間を考えていただきたい。

久々山会長（天草郡市）

選挙だけの総会を開いたほうがいい。また郵送と期日前投票を併用すべき。直前になって急病、不幸があった場合、郵送では間に合わない。いつまでに届いたものを認めるかや期日前投票の期間、時間を決める必要あり。郵送と期日前投票の併用で平等な救済措置ができるし、投票率にも関わってくる。

増田会長（八代）

選挙問題は、やればやるほど難しくなる。ある程度のガイドラインを選挙管理委員会で作成してもらい判断すべきでは。

渡辺専務理事

投票所の複数設置は、弁護士によれば定款上問題がありできない。郵送、期日前投票はあくまで救済措置であり、郵送してきたものを総会で開票する。

清村会長（熊本市）

救済措置は、より広くがいい。ここまではできるを公益法人改革で定款が変わることを前提として、選挙管理委員会で検討すべきでは。

小島副会長

3月総会での会長選挙後の執行部の体制作りは大変。会長選の前倒しも含めて選挙管理委員会に考えてもらう。今回の選挙規則の改正は、来年の3月を見越した上での話で、選挙管理委員会もそれを踏まえた上で最終答申ということで、7月を目途に示していただき、9月の代議員会にお諮りしたい。

（3）日本歯科医師会選挙人の選出

従来どおりで行う。

（広報　加藤　久雄）

特集

公益法人制度改革に向けて その1

― 新法人設立検討臨時委員会 ―

熊本県歯科医師会では、新公益法人制度に関して「新法人設立検討臨時委員会」を設置し、この改革にいかに対応すべきか、検討を開始しております。

つきましては、公益法人制度改革について会員の皆様にもご理解いただくために、数回にわたり公益法人制度改革の概要をご説明いたします。

（1）公益法人制度改革とは

公益法人制度改革は、平成12年に閣議決定された「行政改革大綱」において、特殊法人改革、公務員制度改革、公益法人制度改革の「行革３本柱」としてスタートしました。

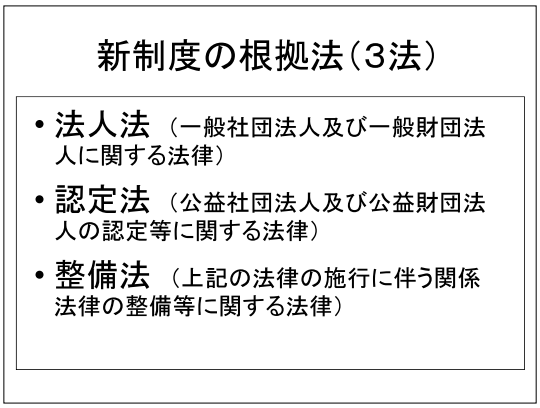
公益法人とは、明治29年、民法第34条に基づいて設立された社団法人及び財団法人で、全国に約25,000、熊本県内では約250の公益法人があります（平成20年11月末の法人数）。

今回、法人制度改革の対象となる法人は、民法によって定められた「社団法人」および「財団法人」であり、特別法によって定められた法人である、学校法人（私立学校法）、宗教法人（宗教法人法）、医療法人（医療法）等の法人は該当しません。

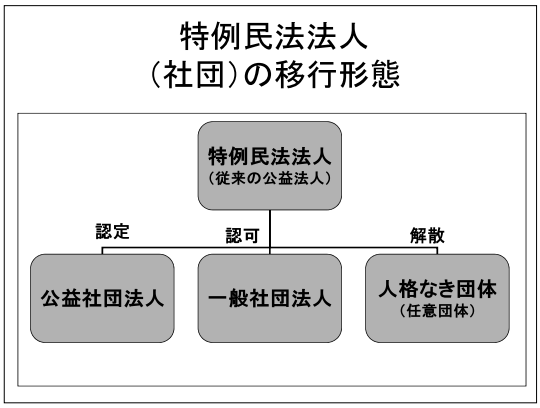
従来の公益法人は民法を根拠法としたものでしたが、この度の改正により「法人法」、「認定法」、「整備法」の３つの法律を根拠法とすることとなります。（図１）

公益法人の設立にあたり、従来は主務官庁の許可を得て法人を設立しましたが、今後は、新規設立の場合一定の要件を満たせば、登記のみで一般社団（財団）法人が設立可能となります。この中で、認定法の基準を満たしている法人は、公益認定を受けて公益社団（財団）法人となります。この公益制の判定は都道府県の合議制機関（公益認定等委員会）が行います。平成20年12月１日より、本会も含め従来の公益法人である社団法人や財団法人は自動的に「特例民法法人」となりましたが、これらの法人は５年以内（平成25年11月30日まで）に新たな法人への移行申請を行わなければ、自動的に解散することとなります。

従って、現在の公益法人のとる選択肢としては、平成25年11月末までに公益認定を受けて「公益社団法人」となる。もしくは、認可申請を行って「一般社団法人」となる。場合によっては法人を解散して「任意団体」、いわゆる人格なき団体となるといった選択肢があげられます。（図２）



（図１）新公益法人関連三法が根拠法となる（詳細は行政改革推進事務局ホームページ参照）



（図２）一般法人の設立は容易となるが、この中で認定を受けた法人のみが公益法人となる

【公益社団法人】
・「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する」ことを目的とする事業を行う非営利法人
・公益認定委員会の意見に基づき都道府県知事が認定する（原則非課税）
・税制上の優遇措置を受けつつ、寄附を主な財源として公益目的事業を行う法人

【一般社団法人】
・公益目的支出計画実施中は毎事業年度の公益目的支出計画の実施報告が必要
・法人税については、非営利性が徹底された法人等であれば収益事業のみ課税となる
・比較的自由な立場で公益的な事業はもとより、様々な事業を実施したい法人

現在、認可申請から決定まで3ヶ月から6ヶ月といわれておりますが、今後認可申請が集中することで認可に係る期間が一層長くなることが予想されます。

（2）新たな公益法人の形態

日本歯科医師会をはじめ、熊本県歯科医師会、また郡市歯科医師会においても、新たな法人制度下でどのような法人を選択すべきか、種々議論されているところです。これらの法人について各々どのようなものなのかご説明いたします。

まずは「公益社団法人」についてですが、公益社団法人としての最大のメリットは「公益」の看板、社会に対する信頼と言われます。しかし、実際に新たな形がスタートしてみないことには、「公益」の看板の重さというものが如何なるものかは、まだ未知数です。更に、税制上も、実施事業が公益目的事業と認定されれば、全て非課税というメリットもあります。

一方デメリットとしては、「公益」を掲げる以上、公益目的事業を最優先とし、歯科医師会であれば全事業費の50%以上を「公益目的事業」として認定を受けて実施しなければなりません。（図3）

また、共済や福利厚生等、会員を対象とした事業である「共益的活動」と言われるものについては、公益社団法人の場合非常に制約を受けます。その他にも保有財産の制限や、万一法人にトラブル、欠格事由が生じた場合、公益法人格を取り消され、自動的に「公益社団」から「一般社団」になるばかりでなく、財産を国等の他団体に贈与しなければなりません。

次に「一般社団法人」ですが、このメリッ

事業区分ごとの事業名の例（公益目的事業）

	事業区分	事業名の例（事業報告書等に記載されているもの）
1	検査検定	検査・検定、検査、検定、認証
2	資格付与	技能検定、技術検定、資格認定
3	講座、セミナー、育成	講座、講習、セミナー、シンポジウム、人材育成、育成、研修会、学術集会、学術講演会
4	体験活動等	イベント、体験、体験教室、ツアー、観察会
5	相談、助言	相談、相談対応、相談会、指導、コンサルタント、助言、苦情処理
6	調査、資料収集	調査研究、調査、統計、資料収集、情報収集、データベース作成、分析
7	技術開発、研究開発	研究開発、技術開発、システム開発、ソフト開発、研究、試験研究
8	キャンペーン、○○月間	キャンペーン、普及啓発、週間、月間、キャラバン、政策提言
9	展示会、○○ショー	展示会、博覧会、ショー、○○展、フェア、フェスタ、フェスティバル
10	博物館等の展示	○○館、コレクション、常設展示場、常設展示
11	施設の貸与	施設（又は会館、ホール、会議室）管理、施設の管理運営、施設の維持経営
12	資金貸付、債務保証等	融資、ローン、債務保証、信用保証、リース
13	助成（応募型）	助成、無償奨学金、支援、補助、援助、補助金、利子補給、家賃補助、無償貸与、無償貸付、無償レンタル
14	表彰、コンクール	表彰、○○賞、○○大賞、コンクール、コンクール大会、審査、コンテスト、グランプリ、展覧会
15	競技会	競技大会、試合、大会、○○カップ、○○杯、○○オープン
16	自主公演	公演、興行、演奏会
17	主催公演	主催公演、主催コンサート

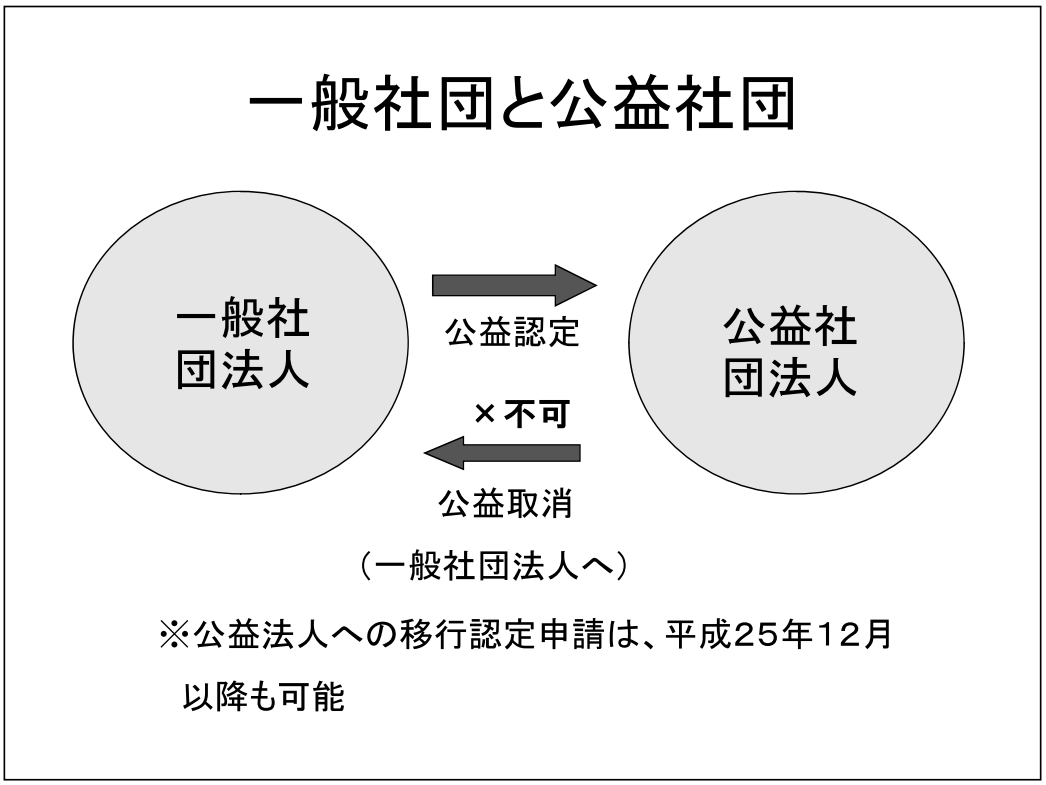
（図3）公益目的事業を実施する場合、上記の17の事業区分に基づいて事業を分類する

トとしては、公益社団法人とは異なり、会員を対象とした共益的活動を事業目的とすることができます。また公益社団法人では事業比率50%以上が公益事業であるというしばりがありましたが、一般社団法人においては、この比率は問われません。何%でもかまいません。また、保有財産の制限もありません。

デメリットとしては、公益社団法人とは異なり、一般社団法人の設立が容易となることから、自ずと社会的信頼度が低下することが危惧されます。また、税制上も原則課税となります。しかし、税金については次号以降でご説明しますが、必ずしも全てが課税ということではありません。

（3）公益か一般か

「公益社団法人」または「一般社団法人」のいずれかを選択するにあたり、一つ注意しなければならないことがあります。（図4）新法人への移行期間である平成25年11月末までにまずは「一般社団法人」の認定を受けて、その後で状況をみながら、移行期間以後に申請をして「公益社団法人」というステップアップは可能です。しかし反対に「公益社団法人」として認定された法人が、事業比率の50%以上を公益目的事業として実施することが困難であるなど、法人としての責務を果たすことができない場合、単純に「公益社団法人」から「一般社団法人」へ移行することはできません。このように公益社団法人としての要件を満たさなくなった場合、公益認定を取り消され、自動的に「一般社団法人」となりますが、その際に財産は国等に贈与しなければなりません。このように、一旦「公益社団法人」として認定された以上、もう後戻りはできないということになります。



（図4）一般社団法人から公益社団法人への移行は随時可。しかし、公益社団法人から一般社団法人になるには、財産を国などに贈与したうえで公益認定を取り消し、自動的に一般社団法人となるなど、リスクが大きい

【参考資料】新潟県歯科医師会：新歯界1月号 №691 2010 「公益法人制度改革について」

カムカム大百科　歯科医師から見た食育

― 学校歯科保健推進大会 ―

学校歯科委員会

平成22年６月12日（土）午後３時より熊本県歯科医師会４階ホールにて、学校歯科保健推進大会が開催された。総人数256名の会員・スタッフ・学校関係者・行政関係者・衛生士学生の皆様が参加された。最初に、河原副委員長の開会の辞で始まり、浦田会長の挨拶、第一部として、大林理事より「学校歯科健診早見表」説明会が行われた。次に岡山大学病院小児歯科　岡崎好秀　講師をお迎えし、演題「カムカム大百科 歯科医師から見た食育」……“歯の話といえば“歯磨き”と“甘いものを控える”等の話，誰もが“またかー”と思います。歯の話をする前から内容がわかっています。でも歯は磨くために生えてくるのでなければ，むし歯になるために生えてくるのでもありません。歯は食物を噛むために生えてくるのです。本日は，子どもの心に戻ったつもりで，食育に関する話題を通じ，口の中のふしぎ・ふしぎについて一緒に考えてみましょう”

講演が始まった。

１：どちらが健康？
２：何故，旭山動物園の動物たちは元気なのか？
３：食べる意欲は生きる意欲
４：どちらが動物園の猿か？
５：正しい字はどちらか？噛と嚙
６：ろうそくが吹き消せない……。
７：口呼吸はインフルエンザに罹りやすい？
８：口笛が吹けない……理由
９：Junk Food を訳してみよう
10：熊本の元気な子
11：おじいさんに聞いてみよう
12：あなたの歯の値段は？
13：大災害で生き残る方法
14：競走馬の診かた（歯科編）
15：食べる意欲と積極性
16：食べる意欲と休み時間の行動
17：よく噛むと目も良くなる
18：子供が作る弁当の日
19：なぜ過蓋咬合が多いのか？
20：風船ガムが役に立つ話
21：漫画　玄米先生の弁当箱　等々

何やら凄い！歯や噛む力が、子供の学力、運動能力、体格にまで影響しているとしたら？

食育とは何か？目からうろこの話でした。

楽しくてためになる３時間の岡崎流授業講演も終わり、ある養護教諭から「一度岡崎先生の講義を受けたかったので歯科医師会の今日の講演は非常に感謝」と、主催者として嬉しい言葉もあった。

もっと岡崎先生を知りたい方は下記のＨＰを参照。

http://leo.or.jp/Dr.okazaki/

以上、今年の学校歯科保健推進大会も大盛況のうちに終わり、有意義な学び時であった。

（学校歯科　浦田　琢二）

郡市会だより

粛々と開催

人吉

― 総会 ―

3月27日（土）15時より人吉市ひまわり亭にて、平成22年度人吉市歯科医師会総会、同日18時より懇親会がおこなわれた。

1）開会の辞　與田副会長

2）物故者黙祷

3）会長挨拶　今藤会長

4）報告事項

①　会務報告
平成21年度事業報告
専務理事　中原　正弘
各担当理事及び委員会報告・連盟活動報告

②　会計報告
イ）平成21年度歳入・歳出現況報告
常務理事　御手洗　肇
監査報告　監事　佐々木満博
ロ）平成21年度特別会計現況報告
常務理事　御手洗　肇
監査報告　監事　武末　和貴
ハ）熊本県歯科医師連盟人吉市支部会計現況報告
会計　菊竹　茂人
監査報告　監事　武末　和貴

③　連盟通常評議委員会報告　連盟幹事　與田　桂三
連盟予備評議員　中原　正弘

④　歯科医師国保組合会報告
国保組合会議員　佐々木満博

⑤　通常代議員会・総会報告
代議員　中原　正弘

滞りなく進行

5）議事

第1号議案　平成22年度事業計画案の承認を求める件
第2号議案　平成22年度一般会計歳入・歳出予算案の承認を求める件
第3号議案　平成22年度連盟会計歳入・歳出予算案の承認を求める件
第4号議案　入会金・連盟会費の承認を求める件
第5号議案　会則の細則追加変更案の承認を求める件

6）協議

①　弔慰規定の追加項目について
②　合併協議の見直しについて

7）閉会の辞　與田副会長

以上の事項を協議・検討をすみやかに行った。

（瀬戸　雄行）

憧れの的

天草

― 古稀祝賀会 ―

6月5日（土）午後6時より天草市の旅館新和荘海心にて天草郡市歯科医師会前会長規矩保会員の70歳古希祝賀会が行われた。はじめに久々山会長が「スマートな歯科医師人生を歩まれて来られた規矩会員は我々の羨望の的であり、これからも水泳で鍛えて来られた無駄のない体型を維持されつつ健康に留意されてください。」と祝辞を述べられた。

紫色の頭巾とちゃんちゃんこを身につけられた規矩会員に久々山会長から花束が贈呈され、続いて規矩会員と同じ牛深地区で長年活躍され、会員の前に久しぶりにお元気な姿を見せられた鬼塚元会長も激励の言葉を述べられた。会は宴会へと移り、さすがに「きく

鉄人：規矩会員

（規矩）ばりの人」規矩会員だけに会員一人一人に自らお酌をして廻られていた。どうか天草郡市会員のため、まだまだ我々の規範となっていただくようよろしくお願いします。

（槌本亮二郎）

郡市会だより

皆の健康を祈って乾杯！

― 祈願祭 ―

八代

6月12日（土）午後4時から八代歯科医師会の恒例行事である祈願祭が八代宮で行われた。

今年人生の節目を迎えられた主役の方々は、米寿の井手尾靖子会員、喜寿の犬塚隆雄会員、古希の坂井満会員、還暦の野田和夫会員と増田了会員、厄晴れの川上立祐会員、厄入りの中村徹生会員、溝口貴志会員、宮﨑修一会員、新入会員でもある清藤寿晃会員である。残念ながら犬塚会員は体調不良の為欠席であった。これらの先生方は一人ずつ宮司より御祓いを受けた後、八代歯科医師会の発展と会員の健康を祈願し、二礼二拍手一礼をもって参拝し、記念撮影を行い八代宮を後にした。

場所は移り八代ロイヤルホテルにて祝賀会が開かれた。

司会進行は松枝勝興会員、世話人は上元ふみ子会員、中川専務理事、上田龍吾会員、山口貴久会員が担当した。

会長からの挨拶では、会員へ参議院選挙の協力要請、歯の祭典については、多くの会員の協力により大盛況であった事について、そして御祓いを受けられた主役の紹介があった。続いて主役の方からお一人づつ言葉を頂いた。

その後、八代の大御所である澤田稔会員よりユーモアある言葉も交えて力強く乾杯の言葉が発せられ、祝宴が始まった。

人生の節目を迎えられた主役の方々

祝宴が始まると、食事はさておき、お酒を中心にあちらこちらで年配の会員と若手の会員の和気あいあいと話が弾んだ。川上立祐会員においては、主役としての緊張が解けたせいか、いつも以上に声が弾んでいた。

祝宴は時間を過ぎても盛り上がりは衰えず、上野副会長の閉会の辞で修了した。

外は雨が降り始めたが、急ぎ足で家路につく人や軽やかな足取りで二次会に向かう人がいた。

最後に、主役であるにも関わらず自ら手伝って下さった溝口会員、野田会員、受付を手伝って下さった山口透会員、そして、毎年八代宮での記念撮影を快く引き受けて下さる上元健一会員に深く感謝致します。

（山口　貴久）

郡市会だより

「地域に信頼される歯科医師へ」

— 総会 —

菊池

5月29日（土）午後4時より、菊池市の笹の家にて、“地域に信頼される歯科医師像の確立に向かって”との演題のもと、菊池郡市歯科医師会の通常総会が開かれた。

原賀副会長の開会の辞の後、荒木会長より挨拶が行われ、髙木専務理事より会務報告、各委員会より報告の後、工藤晃正会員を議長、伊藤明彦会員を副議長に選出し、後述の議事が行われた。

1．平成21年度一般会計歳入歳出決算の承認を求める件
2．平成21年度特別会計
　会館会計歳入歳出決算の承認を求める件
　弔慰金見舞金制度歳入歳出決算の承認を求める件
　医療安全対策事業歳入歳出決算の承認を求める件
3．一般会計予備の補填のための定額貯金（剰余積立）の取り崩し案の承認を求める件
4．会計監査報告
5．理事選出特別委員会設置規程（案）の承認を求める件

内容が充実した会であった

6．公益法人制度改革における一般社団法人化の承認を求める件

について議事が行われ滞りなく、承認された。

その後、協議事項として、阿久根理事より第24回「歯の健康展」実施に関する説明があった。

宮川副会長の閉会の辞で、通常総会は終了した。

その後、社会保険の説明が、県歯前田理事、工藤委員より行われ、また、県歯より浦田会長、渡辺専務の参加のもと、タウンミーティングが行われた。

最後に同会場にて、懇親会が行われ、菊池郡市での親睦を深めた。

（高田　宗秀）

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

一般会員

甲斐　美和
（カイ　ミワ）

玉名市玉名1237-4
かい歯科（KaiDental）

①予防を通じていろいろな人達の口腔内環境及びデンタルIQを上げていきたいです。
②基本を忠実に保険検診を行いながら重複しますが予防の大切さ重要性をより多くの人達に伝え、自分磨きの1つと感じていただけるような内容としてプロデュースしていきたいです。
③治療プラス癒しです。
女性スタッフのみの医院ですので、女性ならではの良さを全面に出していきたいと思います。
④地域の方々からの信用と信頼を少しずつですがスタッフ一丸となって得ていきたいです。

社団法人 熊本県歯科医師会 会員のみなさまへ　2010年度

会員専用 グループ保険制度のご案内

Ⅰ. 団体定期保険（S51）（死亡保障プラン）会員・配偶者
＜災害保障特約（S51）＞

Ⅱ. 新医療保障保険（団体型）（医療保障プラン）会員・配偶者・こども
＜手術特約/家族特約/家族手術特約＞

グループ保険制度の7つの特徴

- お手頃な保険料で、死亡保障・入院保障を準備できます。
- 入院1日目から保障の対象となります。（医療保障プラン）
- 保険期間は1年で、毎年保障の見直しができます。
- 配偶者・お子様も会員ご本人とセットでお申込みになれます。
  ※団体定期保険（S51）は配偶者のみとなります。
- 医師の診査がなく、告知書の提出のみで簡単に申込みになれます。
- 団体定期保険（S51）・新医療保障保険（団体型）それぞれ剰余金があれば、配当金として還元されます。保険金・給付金のお支払状況等によっては配当金が0になる場合があります。
- 付帯サービス（健康コール24などのサービスを利用できます。）（医療保障プラン）

申込締切日：毎月15日

保険期間：2010年8月1日（保障が開始する日）
～2011年7月31日

申込書提出先：熊本県歯科医師会　事務局

8 行事予定

3日（火）	第9回常務理事会
7日（土）	医療安全及び院内感染対策講演会
17日（火）	第10回常務理事会
24日（火）	第5回理事会
28日（土）	厚生管理講演会

編集後記

最近、島崎の住宅街の側溝にも、蛍が見られるようになりました。下水道の整備と共に、町の人たちの河川の清掃等の取り組みの成果が、実って来たようです。又、水遺産の（長命水、叢桂園、釣耕園、三賢堂、青年の家跡）登録も弾みになっています。

近い将来、蛍が乱舞するのが見られるのを楽しみにしています。

（N.T）

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2010年7月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市坪井2丁目4-15
TEL　096-343-8020
FAX　096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷